



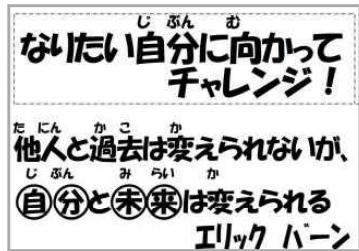
射水市立小杉小学校 学校だより

杉っ子

第10号

令和5年1月20日

新しい年を迎えました 今年もよろしくお願ひします



1月10日に第3学期の始業式を行いました。転出入があり、全校児童599名のスタートです。

今年のお正月は比較的、穏やかな天候が続きましたが、いかがお過ごしだったでしょうか。子供たちのにこやかな表情や元気な挨拶から、家族とたくさん触れ合ってパワーを蓄えたことが伺えます。

さて、始業式では上の二つのフレーズを出しながら、今学期がんばってほしいことを話しました。どちらも本校の今年度の重点目標につながるものです。

一つ目は「なりたい自分に向かって、チャレンジ」です。

なりたい自分に向かって、誰にでも乗り越えなければならないことがあります。自分をしっかりと見つめて、どんな小さなことでもよいのでチャレンジしてほしいと思います。小さなことの積み重ね、毎日の努力が自分を成長させてくれます。

二つ目は、「感謝の気持ちを伝える」です。

コロナウイルス感染症が流行ってから、私たちは今まで当たり前と思っていたことの有難さを学びました。「私のことを分かってくれない」とか「遊んでくれない」などと、「～してくれない」ばかり言っている「くれない族」になってはいけません。じっと待っていれば、誰かが自分を楽しく笑顔してくれるわけではありません。自分から笑顔で周りに働きかけ、周りの人に「ありがとう」を伝えていってほしいと思います。

「努力できる自分」が好きになれるように、心と心のつながりを感じ、たくましい杉っ子になれるように教職員一同、力を合わせて取り組んでいきます。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

杉っ子元気タイム 1月17日

今回の杉っ子元気タイムは縦割りグループで遊ぶ日でした。ドッジボールの経験が少ない低学年も上學年の友達に励ましてドッジボールを楽しんだり、激しい運動ができない友達に「だるまさんが転んだ」の鬼になってもらいみんなで楽しんだり…。どのグループも運動を楽しむとともに、心が温まり仲を深める時間となっていました。



校内書初大会

書初は平安時代の宮中行事を起源とし、寺子屋から庶民に広がり、学校教育で定着した正月行事と言われています。どの学年の子供も一画一画丁寧に心を込めて書いていました。

一生懸命は美しい！



いのちの大切さを学ぶ

自分のいのちがかけがいのないものであると実感できるように、どの学年も全教育活動を通していのちの教育に取り組んでいます。「いのちのメッセージカード」への記入など、ご協力をいただきありがとうございます。

先日、3年生では学年合同で授業を行っていました。妊娠中の先生から胎児の写真や動画を見せてもらって話を聞いたり、子供たちが家人へのインタビューから思ったことを話し合ったりしていました。

これからも自分のことを大切な存在だと思えるように、人と人とのつながりを実感できるように教育活動を進めていきたいと思います。

<3年生の子供たちの感想から>

- ・ぼくのことを産んでくれてありがとう。大切に育ててくれたおかげでここまで成長できました。これからもよろしくね。
- ・ご先祖様から命がつながっているからこそ、お母さんや私は生きていると授業を聞いて思いました。
- ・先生の話を聞いて私の命があるのもお母さんが命がけで産んでくれたからだな、産まれてきてよかったなと思いました。私を愛してくれているし、産んでくれてありがとうございます。



あったか家族の日



～家族一緒に食事、おしゃべり、お手伝い～

射水市では、家族とのふれあいや団らんが子どもの健全な成長につながると考え、毎月25日を家族との時間を大切にする「あったか家族の日」としています。

小学校の「あったか家族の日コーナー」は全校児童が通るところにあり、友達のカードを楽しそうに見ている子供たちがいます。私も毎月、楽しみにしている一人です。秋には、「家の草むしりをしたよ」「弟を散歩に連れて行ったよ」といったカードがありました。

先月は冬休みだったので、「自分で企画して家族でゲームをしたりお菓子を食べたりしたよ」「おせち料理を食べたよ。黒豆がおいしかったよ」「お姉ちゃんやお母さんとお菓子を作ったよ」といったカードがありました。毎日の何気ない会話やふれあいが子供たちのエネルギーの源となります。家族からのコメントで、ねぎらいや感謝の言葉、共感の言葉をもらった子供たちのうれしそうな顔が目に浮かびます。ありがとうございます。